

## ゴールデン・プリンセス 初寄港

5月30日、英領バミューダ船籍の大型クルーズ客船「ゴールデン・プリンセス」(全長290メートル、総トン数約10万9千トン、乗客定員2,636人、乗組員数1,100人)が徳島小松島港の赤石地区に徳島県内で初めて寄港しました。

台湾人を中心に約2,500名の外国人観光客が下船し、観光バスで市内や県内を巡るツアーを楽しみました。岸壁では、市職員らが小松島名産のちくわを約2,500本配るなどして乗客らを歓迎していました。



ゴールデン・プリンセスから下船する大勢の外国人観光客



ボランティアに貸し出す資機材(絵が描かれたカードで代用)を確認する参加者

## 災害ボランティアセンターの運営訓練を実施

小松島市社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター」の運営訓練が6月4日に実施され、市内の地区社協などから110名が参加しました。

災害ボランティアセンターは、災害発生時のボランティア活動を円滑に進めるため、主に社会福祉協議会が運営し、被災された住民のニーズ把握やボランティアの受付、資機材の貸出などを行います。

訓練では、参加者がグループとなり運営側とボランティア側に分かれ、それぞれの立場で活動を体験し、災害ボランティアセンターの役割を学んでいました。

## 乗用車型のドクターカー 新たに配備

徳島赤十字病院に乗用車型のドクターカー(ラピッドレスポンスカー)が新たに配備され、6月8日から運用を開始しました。

ドクターカーは、消防機関などから救急要請を受けた際に、医師が乗車し一刻も早く救急現場に駆けつけ、迅速な初期診療を行うことで、救急患者の救命率向上を図ることを目的としています。

同病院のドクターカーは、平成27年4月から運用している救急車型1台と合わせて計2台となり、複数の救急要請が重なった場合でも、迅速な対応が可能となります。また、乗用車型は狭い道でも通りやすく、医師を救急現場へより早く運ぶことができる機動力を備えています。



徳島赤十字病院に新たに配備された乗用車型のドクターカー(中央)と、平成27年4月から運用している救急車型のドクターカー(右)



夢中になって生きものを探す子どもたち

## 水路の生きもの調査 子どもたちが夢中

5月22日、田浦町西原地区の水路で生きもの調査が行われ、地域の子もたち約30名が参加しました。

子どもたちは、網を持って夢中で生きものを探し出し、ギギやドンコ、ヤゴ、ナマズなど数十種類の生きものを100匹余り捕まえていました。

この活動は、西原環境保全会と小松島市生物多様性農業推進協議会が行ったもので、子どもたちに自然に親しんでもらい、生きものにやさしい農業の普及を図ることを目的としています。